

# 第7回新「シェル・空間構造」セミナー

## - 応答制御技術が開く空間構造デザインの可能性 2008 -

近年は、構造形態創生技術や解析技術の進歩により、多種多様なシェル・空間構造が実現・計画されております。一方で、耐震性能に大きく影響する“シェル・空間構造の減衰”や“シェル・空間構造に対する制振の適用”について、纏められた資料は見あたりませんでした。そのような状況を鑑み、シェル・空間構造運営委員会では、これまでの研究成果を集積し、日本建築学会より書籍「シェル・空間構造の減衰と応答制御」を2008年3月末に発刊するに至りました。本出版を節目として、第7回新「シェル・空間構造」セミナー 応答制御が開く空間構造デザインの可能性 2008 を開催致します。シェル・空間構造や応答制御・減衰に興味を持っておられる技術者・研究者・大学院生・学部学生等に有益なセミナーと考えられます。多くの皆さまの参加をお待ちいたしております。

<主催> 日本建築学会構造委員会 シェル・空間構造運営委員会 応答制御と減衰小委員会

日時：2008年6月27日(金) 10時00分～17時00分

会場：発明会館ホール(東京都港区虎ノ門2-9-14,最寄り駅：地下鉄銀座線虎ノ門駅,徒歩5分) <http://hatsumeikaikan.com/>

### 【プログラム】

	司会 谷口与史也(大阪市立大学)
1. あいさつ	大森博司(名古屋大学) 10:00 - 10:05
2. 主旨説明	新宮清志(日本大学) 10:05 - 10:15
3. 空間構造の減衰概論	立道郁生(明星大学) 10:15 - 10:55
4. 建築の減衰	内藤幸雄(鹿島建設) 10:55 - 11:35
(休憩10分)	
5. 空間構造の減衰の実際	
・鉄骨ラチス構造	新宮清志・平塚聖敏(日本大学) 11:45 - 12:05
・RCシェル	武藤 厚(名城大学) 12:05 - 12:25
・空気膜構造	浅見 豊(大成建設) 12:25 - 12:45
(昼食)	
	司会 山田耕司(豊田工業高等専門学校)
6. 応答制御の概論	大木洋司(東京工業大学) 13:45 - 14:25
7. 空間構造の応答制御例	
・代々木体育館	松井 稔(川口衛構造設計事務所) 14:25 - 14:45
・しもきた克雪ドーム	水谷太朗(大成建設) 14:45 - 15:05
・ひらかドーム	渡邊朋宏(佐藤総合計画) 15:05 - 15:25
(休憩10分)	
8. モード学園スパイラルタワーズの応答制御	山脇克彦(日建設計) 15:35 - 16:15
9. 今後の展望	新宮清志(日本大学) 16:15 - 16:30
10. 全体討議	16:30 - 16:50
11. まとめと閉会の挨拶	谷口与史也(大阪市立大学) 16:50 - 17:00

記録 吉中 進(大阪市立大学), 西田明美(日本原子力研究開発機構)

参加費： 会員 4,000 円 会員外 5,000 円 登録メンバー 4,500 円 学生 1,500 円 (資料代含む)

資料代：1,500 円

申し込み方法：『第7回新「シェル・空間構造」セミナー』と表記の上、FAX または E-mail で「氏名・勤務先・所属・電話番号・FAX・E-mail」を明記し、6月20日(金)までにご連絡ください。定員(150名)になり次第締め切ります。定員オーバーの方のみ事務局より連絡致します。

申し込み・問い合わせ先：日本建築学会事務局研究事業G 今井浩, E-mail: [imai@aij.or.jp](mailto:imai@aij.or.jp) FAX: 03-3456-2058

# 発明会館ホール案内図

H19/11

住所 東京都港区虎ノ門2-9-14  
電話 03-3502-5499 FAX 03-3595-2763  
URL <http://hatsumeikaikan.com/>  
交通 地下鉄銀座線「虎ノ門」駅 3番出口  
徒歩5分  
地下鉄「霞ヶ関」駅 A13番出口  
徒歩13分

